



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月7日

上場会社名 株式会社東武ストア 上場取引所 東  
 コード番号 8274 URL <http://www.tobustore.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮内 正敬  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 兼 経理部長 (氏名) 山本 秀昭 (TEL) 03-5922-5243  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	61,828	1.0	473	△18.1	674	△11.3	72	△68.2
25年2月期第3四半期	61,224	△3.0	577	△56.0	760	△48.9	228	△60.8

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 70百万円(△67.1%) 25年2月期第3四半期 215百万円(△57.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	1.07	—
25年2月期第3四半期	3.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	35,553	22,925	64.5
25年2月期	34,678	23,195	66.9

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 22,925百万円 25年2月期 23,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	2.5	820	1.4	1,080	0.3	300	△40.1	4.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年2月期3Q	68,206,442株	25年2月期	68,206,442株
26年2月期3Q	270,002株	25年2月期	265,607株
26年2月期3Q	67,938,346株	25年2月期3Q	68,692,409株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果により景気回復の動きが継続しているものの、海外景気の下振れによる影響や本年四月に実施される消費税増税による消費低迷への懸念など引き続き不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましても、価格競争など業種業態を超えた販売競争の激化、燃料価格上昇による電気料金の値上げ等に伴う経費増など非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは売上、粗利益拡大のため、積極的な既存店の改装や販促の強化を図るとともに、安定的に営業利益を確保するための「構造改革」に全グループを挙げて取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、新店開設や積極的な既存店改装の効果等により、売上高は618億28百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は水道光熱費や新店開設に伴う広告宣伝費等の増加により、4億73百万円（前年同期比18.1%減）、経常利益は6億74百万円（前年同期比11.3%減）、四半期純利益は72百万円（前年同期比68.2%減）となりました。

事業別の営業状況は次のとおりです。

[小売業] 売上高 591億41百万円（前年同期比0.9%増）  
(株式会社東武ストア)

株式会社東武ストアの主な施策は以下のとおりです。

#### 1) 新店の開設及び既存店の改装

##### ①新店の開設

平成25年4月に「フェンテ下丸子店」（東京都大田区）及び「新小岩店」（東京都江戸川区）の2店舗を開設し、当社の店舗は合計63店舗となりました。

##### ②既存店の改装

上半期「川越マイン」において食品フロアを地下1階から1階に移設する大改装を行いました。また、9月に品揃えの見直しとレイアウト変更により回遊性の向上を図る改装を「新船橋店」、10月に耐震補強工事に伴う全面改装を「小菅店」、11月に設備の更新及び品揃えとレイアウトを大幅に見直す改装を「西国分寺マイン」で行うほか、店舗内レイアウトの一部変更や設備の更新等ミニ改装を「蒲生店」、「フェンテふじみ野店」及び「フェンテ練馬店」で行いました。

#### 2) 売上・粗利益拡大策

##### ①品揃え並びに鮮度の強化

美味しさや品質を重視した上質化商品や即食性商品の品揃えの強化並びに、産地直送の農産や水産の取り扱いを拡大するなど鮮度の強化を図るとともに、年代別購入データに基づき時間帯別品揃えを実施し、特に午前中に来店比率の高いシニア層の需要を捉えて午前の売上拡大に取り組みました。

##### ②販促の強化

- ・チラシの企画内容を見直し、価格訴求だけに拘らず、産地やメニューを切り口に地域の名産品、味や品質、旬に拘った食品の売り込みを強化いたしました。
- ・粗利益率の高い「Vマーク商品」（私鉄系チェーンストア8社の共同企画開発商品）のチラシ掲載頻度を上げるとともに、売り込み強化商品にポイントを付与するなど販促を強化して売上の拡大を図りました。

##### ③ロスの削減

ロスの多い日配食品及び惣菜部門を重点に、売れ筋への絞り込みによるアイテム数の削減、適正な仕入・製造・販売計画の運用指導を店舗及び部門毎に行うなど、ロスの削減による粗利益向上に継続して取り組みました。

### 3) 構造改革の推進

安定的に営業利益を確保するためにはオペレーションコストの削減が最重要課題と捉え、構造改革に徹底して取り組みました。

#### ①自動発注の完全定着化

自動発注の完全定着化に向けたきめ細かな教育、指導を継続して行い、衣料品、生活用品及び加工食品の自動発注対象商品については自動発注への切り替えを完了し、定着化を図りました。

#### ②作業指示書、役割分担表活用の徹底

作業指示書、役割分担表の活用を行い売場作りと商品作りの徹底を継続して行うことで、店舗オペレーションの効率化を推進して人時生産性の向上を図りました。

#### ③「収入アップ」及び「効率化」プロジェクトの推進

「収入アップ」プロジェクトでは、店舗毎の徹底した商圈分析を基に全店舗の店舗カルテを作成して、個店毎のきめ細かな営業戦略を策定、実施する体制を確立いたしました。また、「効率化」プロジェクトでは、社員が行っていた店舗作業のパートナーへの移管及びアウトソーシングすることなどで店舗オペレーションの効率化を図りました。

### 4) 人材の育成

次期の店長候補者の育成のため「店長塾」を開講するとともに、営業の要である店長、マネージャー教育を充実して店舗オペレーションレベルの底上げを図りました。また、売場担当者を対象に外部の専門家による「ホスピタリティ研修」を継続して行い接客の向上に取り組みました。

その他、月1回営業利益が厳しい店舗に対して、個別にきめ細かな改善策を指示する営業幹部会議を開催するとともに、略毎週業績が厳しい店舗に本社の営業幹部が入り込み改善策を指示する店舗クリニックを行うなど、継続して店舗指導を強化いたしました。

一方、消費税増税に対する対応については、プロジェクトチームで情報収集、課題の分析・検討を行い、価格表示は本体価格表示、税金の計算は外税方式で行うことを決定いたしました。

#### (株式会社東武フーズ)

株式会社東武フーズは、当社店舗を中心にファストフード店、インスタベーカリー等を運営し、ローコストオペレーションによる効率化を追求して、安定した利益を確保できる企業体質の強化に継続して取り組みました。

[その他] 売上高 26億86百万円 (前年同期比3.9%増)

その他といたしましては、子会社の株式会社東武警備サポートが警備業、メンテナンス業、人材派遣業を行っております。同社では、継続して業容拡大と効率経営に取り組みました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ8億75百万円増加し、355億53百万円となりました。店舗改装等により有形固定資産が3億32百万円、商品が3億31百万円、現金及び預金が3億7百万円それぞれ増加したこと等が要因です。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ11億45百万円増加し、126億28百万円となりました。未払法人税等が2億24百万円減少しましたが、買掛金が8億26百万円、未払費用が6億43百万円それぞれ増加したこと等が要因です。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億70百万円減少し、229億25百万円となりました。第3四半期純利益72百万円による増加と、剰余金の配当3億39百万円の支出等が要因です。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年2月期第2四半期決算発表時(平成25年10月8日)に公表した数値から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,470	1,778
預け金	3,987	4,131
売掛金	703	884
商品	2,220	2,552
繰延税金資産	254	118
その他	1,326	1,393
流動資産合計	9,963	10,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,103	9,600
機械装置及び運搬具(純額)	8	8
工具、器具及び備品(純額)	1,153	1,176
土地	3,149	3,149
リース資産(純額)	1,781	1,657
建設仮勘定	65	3
有形固定資産合計	15,261	15,594
無形固定資産		
ソフトウェア	127	105
その他	58	64
無形固定資産合計	185	169
投資その他の資産		
投資有価証券	336	222
差入保証金	2,769	2,819
敷金	3,914	3,980
前払年金費用	646	660
繰延税金資産	1,064	1,105
その他	536	141
投資その他の資産合計	9,268	8,930
固定資産合計	24,715	24,694
資産合計	34,678	35,553

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,869	3,696
短期借入金	250	250
リース債務	165	166
未払法人税等	234	10
未払消費税等	196	174
賞与引当金	206	35
商品券等回収損失引当金	31	26
ポイント引当金	139	147
その他	1,788	2,536
流動負債合計	5,883	7,043
固定負債		
リース債務	1,746	1,620
退職給付引当金	3,133	3,217
役員退職慰労引当金	87	108
資産除去債務	311	316
その他	320	323
固定負債合計	5,599	5,585
負債合計	11,482	12,628
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,022	9,022
資本剰余金	7,442	7,442
利益剰余金	10,162	9,895
自己株式	△72	△73
株主資本合計	26,553	26,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	84
土地再評価差額金	△3,444	△3,444
その他の包括利益累計額合計	△3,358	△3,360
純資産合計	23,195	22,925
負債純資産合計	34,678	35,553



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	61,224	61,828
売上原価	43,471	43,991
売上総利益	17,753	17,836
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	6,403	6,433
賞与引当金繰入額	6	7
退職給付費用	239	201
不動産賃借料	3,591	3,595
減価償却費	1,154	1,097
その他	5,781	6,028
販売費及び一般管理費合計	17,176	17,363
営業利益	577	473
営業外収益		
受取利息	30	29
受取手数料	147	163
その他	66	62
営業外収益合計	244	255
営業外費用		
支払利息	23	21
固定資産廃棄損	34	28
その他	4	3
営業外費用合計	62	53
経常利益	760	674
特別利益		
投資有価証券売却益	—	57
特別利益合計	—	57
特別損失		
減損損失	224	272
固定資産除却損	85	156
その他	0	—
特別損失合計	310	429
税金等調整前四半期純利益	449	303
法人税、住民税及び事業税	168	134
法人税等還付税額	△35	—
法人税等調整額	89	95
法人税等合計	221	230
少数株主損益調整前四半期純利益	228	72
四半期純利益	228	72

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	228	72
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△1
その他の包括利益合計	△12	△1
四半期包括利益	215	70
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215	70
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 販売の状況

項 目	当第3四半期 連結累計期間 (A)		前第3四半期 連結累計期間 (B)		増減金額	前年同期比
	金 額	構成比	金 額	構成比	(A) - (B)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
[小 売 業]						
加工食品	24,832	40.2	24,312	39.7	520	2.1
生鮮食品	23,065	37.3	22,442	36.7	622	2.8
衣 料 品	2,429	3.9	2,539	4.1	△109	△4.3
生活用品	1,927	3.1	1,898	3.1	28	1.5
商 事	102	0.2	107	0.2	△4	△4.0
専 門 店	6,783	11.0	7,338	12.0	△554	△7.6
小 計	59,141	95.7	58,638	95.8	502	0.9
[そ の 他]						
警備業等	2,686	4.3	2,586	4.2	100	3.9
売上高計	61,828	100.0	61,224	100.0	603	1.0